

日 立 の 家

新 築 物 語

豊田設計事務所
豊田善幸

日立の家新築物語

目次

2007・06・12 (火)	設計進行中	1
2007・07・01 (日)	週末打ち合わせをしました。	2
2007・07・23 (月)	地盤調査	4
2007・07・25 (水)	地鎮祭結果発表～～！	6
2007・07・29 (日)	工事契約直前♪	8
2007・08・05 (日)	住宅センター様	9
2007・08・08 (水)	間に合った♪	11
	地鎮祭	12
2007・08・22 (水)	かなり早いです。	15
2007・08・28 (火)	プレカット図確認完了！	18
2007・09・01 (土)	基礎完成	20
2007・09・13 (木)	こちらも上棟	23
2007・09・21 (金)	上棟式	26
2007・09・27 (木)	断熱工事	29
2007・09・29 (土)	電気打ち合わせ	32
2007・09・30 (日)	床の間の材料選び♪	36
2007・10・21 (日)	内装計画	38
2007・11・04 (日)	内装計画奮闘中	40
2007・11・18 (日)	ベランダ完成！	44
2007・11・24 (土)	塗装の打ち合わせです。	48
2007・12・03 (月)	足場解体です。	50
2007・12・22 (土)	建具設置完了♪	52
2007・12・24 (月)	完了検査のダブルヘッターです。	55
2007・12・25 (火)	完了検査が無事終了です	57
2007・12・28 (金)	引渡ししました。	60
2008・02・11 (月)	暖房不具合	64

日立の家新築物語

2008・02・19 (火)	ゲート♪	67
2008・03・28 (金)	外構完了です	70
2009・01・21 (水)	暖房の設定	72
2009・02・24 (火)	温度測定中	74
2009・02・27 (金)	温度測定結果考察	77

2007・06・12（火）

設計進行中

日曜日

お客様と設計の打ち合わせがありました。

真剣に「家づくり」を考えて、

たくさんの方に相談して、たくさん悩んで、

私の事務所を尋ねてくださったお客様です。

こだわりのある方で、

なかなか大変でしたがようやく細部まで見えてきました。

忙しいのは嬉しいのですが、ブログの更新が滞っています。

いわきWebアワード2007を意識して、

じゃんじゃん更新していく予定なのですが・・・

↓面白かったらポチ↓

住まいブログ

ブログの設定を変えたら表示が変になってしまった・・・

今夜はもうこのまま！

2007・07・01（日）

週末打ち合わせをしました。

設計の仕事を楽しんでいると
ついウツカリやってしまいます。

階段下収納の扉をきれいに見せるとか、
大きな引き込み戸を設計するとか、
等間隔に並ぶ構造の壁の間に機能的な家具を計画するとか、

暖房空間がどんなに大きくなろうとも、
吹き抜けなどで天井が高くなろうとも、
建物全体を少しのエネルギーで暖める技術がありますから
心配していません。

ただし、
ダラダラと「ひとつながり」の空間をつくっていくと
電気の図面を描くときに突然困ります！

引き戸・現しの柱・家具などが連続していて
スイッチを設置できる壁がない・・・
「和室の照明はプルスイッチでいいでしょうか？」
「脱衣室の照明は人感センサー？」
「廊下の三路スイッチはどこに付けましょう？」
「こうなったら家具にスイッチを付けるしかないです・・・」
などなど、見通しの甘い設計屋です（赤面）

↓面白かったらポチッ↓

住まいブログ

追記：

照明器具も私が選ぶのですが、

お客様はカタログに興味津々です♪

明日、郵送いたしますので楽しんでください。

(予算を忘れずに見ていただけることを祈っています)

2007・07・23（月）

地盤調査

日曜日でも設計屋は休みません！

午前中に「土間のある家」の地鎮祭をこなし、

午後は「日立の家」の打ち合わせです。

前の晩遅くまで飲んでいましたので、アクビ連発です（猛省）

予算までもう少しなのですが、なかなか着陸できません。

毎度のことですが金額調整をしているときは本当に切ないです。

良かれと思って描き込んだ図面がアダとなり、

予算調整のために仕様変更を余儀なくされる・・・

頑張っって描いた図面が無駄になると同時に、

お客様は幸せな生活のイメージを削ぎ落とされていく・・・

もう、設計屋は幸せを奪う悪者ですよ！

そんなわけで、結果を先延ばしにして打ち合わせが終了！

長い一日でした。

↓面白かったらポチッ↓

住まいブログ

追記：

年内完成を約束していますので、かなり焦ってきました。

と言いつつ、二日酔いで打ち合わせするフトドキ者です。
打ち合わせの後、ぐっすり眠らせていただきました（笑）

2007・07・25（水）

地鎮祭結果発表～～！

「日立の家」の地盤調査結果です。

月曜日 調査会社に連絡し、担当者が事前打ち合わせのために来所。

火曜日 朝9時から調査開始！

水曜日 ファクシミリで地耐力は問題なく確保されているとのこと

いや～

仕事が速いですね！！

そしてもっか軟弱地盤に3回連続で当たっている地盤調査ですが

今回は問題無しです。

敷地周辺の建物の基礎を一通り眺めていたので

「この敷地は問題ないだろうなあ～♪」ぐらいは想定していましたが、

実際は想像したより軟らかめでドッキリしました。

(木造2階建て程度でしたら問題ない強度です)

↓面白かったらホッ！↓

[住まいブログ](#)

追記：

通常、調査時は立ち会うのですが、

今回は問題なさそうでしたので、お客様にお願いしちゃいました♪

打ち合わせでアクビを連発し、

調査立会いの仕事をお客様に押し付けるなど、

最近ちょっと酷いですね。

『以後、気をつけま～～す』

2007・07・29（日）

工事契約直前♪

「日立の家」の設計が完了しまして、
見積もりも出揃い、施工会社が決まりました。
設備機器の仕様確認と、設計変更項目をリストにして
打ち合わせ完了です。

早急に、工事契約用の最終見積り書を手配し、
確認申請を下ろさなければなりません。
いつも後手後手の私にしては珍しく
確認申請を先回りしていましたが、それでも焦ってます！！

↓面白かったらホチ↓

[住まいブログ](#)

追記：

地鎮祭の日程も決まりましたので、
またお酒を用意しなければなりません。
酒屋さんは、相当儲かっている設計事務所だと思っているはず
です。

あはは、次の仕事無いです♪（←おい！）

2007・08・05（日）

住宅センター様

6月に建築基準法が改正されて
確認申請の審査にかかる時間が大幅に伸びました。
住宅であれば数日で完了したのに、
今回申請している「日立の家」は1週間たっても音沙汰無し
です。

そんなわけで、
恐る恐る電話しました。
「月曜日に受理されたものはまだ見ていません。
今、前の週の水曜日の書類を見えています。」とのこと・・・

これは参ったぞ！
地鎮祭に間に合わない！

そしたら、
土曜日の午後、
「申請書等の不適合について」とファクシミリが届きました。
偉いです。土曜日にも仕事をしていました。
週末に図面と書類を修正しましたので、
確認申請はもうすぐおります。
よかったです。

↓面白かったらポチ↓

[住まいブログ](#)

追記：

修正が終わると、

水戸の住宅センターまで受け取りに行くのが面倒！

でも、明日までに手元に持っていたいのです。

2007・08・08（水）

間に合った♪

「日立の家」は地鎮祭です。

通常1週間程度で戻ってくる建築確認申請がなかなか審査されず

ヤキモキしましたが、

ようやく訂正項目が指摘され、

訂正内容をファクシミリで送り、確認していただくことができました。

私が地鎮祭で「えいっ！えいっ！えいっ！」とやっているとき事務所の新人スタッフは水戸の建築住宅センターに行き確認申請書の差し替えを行います。

以前は、差し替えると10分程度で確認済の書類が戻ってきたのですが、

今度は2時間かかるそうです。

新人さんには

「2時間、水戸で遊んできていいよ」と言っておきました。

さて、何して遊んでくるのでしょうか？

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

建築基準法改正がこんなに大変になるなんて
思っていませんでした。とにかく、よかった！よかった！

地鎮祭

「ひたちの家」がいよいよ着工です。

高速使って片道1時間の現場ですので「ETC」を付けました。

高速を上手に利用して何とか元を取ります（密かな目標です）

地鎮祭と地縄の確認をしてきました。



地鎮祭の準備中です。



建物と敷地の離れをみて、
少し建物を南に移動するように現場に指示を出しました。
図面ではギリギリまで庭を広く描いていますが、
お客様に実際の庭の広さを見ていただき、
北側にもう少し余裕があったほうがいいことを説明します。
図面ではもったいなく見える部分ですので、
毎回現場でこのような微調整をさせていただきます。

↓面白かったらホッ↓

住まいブログ

追記：

その頃新人スタッフは水戸の建築住宅センターに
確認申請を受け取りに行っていました。

無事に確認申請が戻ってきましたので、遠慮なく着工でき
ます。

2007・08・22（水）

かなり早いです。

「ひたちの家」が始まりました。

「土間のある家」と同じ工事屋さんで

現場担当者も同じ方を指名しましたので任せて安心です。

昨日は、

車にETCが付いたので本当にゲートが開くかドキドキドライブで

ひたちまで行ってきました。

行ってびっくりです。

お盆明けから着工したのに、既に配筋まで終わっていました。



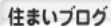
現場を確認して帰ろうとしたとき、現場担当者から電話があり、

「コンクリートを打ちたいので配筋検査をして欲しい」とのこと。

なんでも、
基礎屋さんは急いで次の現場へ行かなければならぬらしく
恐ろしい速度で工事を進めているんだそうです。

でも、
アラサガシをしてしてしまいました。
補修ヶ所の写真を残すようお願いして、配筋検査完了です。

↓面白かったらポチ↓

住まいブログ

追記：

残念ながら、
「ひたちの家」はこのままの勢いで進むわけではありません。
まだ、プレカット屋さんからの承認図が届いていません・・・
せっかく進んだのに、
基礎工事完了後、少しの間現場は放置されてしまいます。
お客様、喜ばせてごめんなさい！



毎度おなじみの「設備ピットくん」です。

2007・08・28（火）

プレカット図確認完了！

「ひたちの家」は、現場が遠いため
地元の現場のようにちょくちょく見に行くことができません。
そこで、「土間のある家」と同じ工事屋さんで
同じ担当者を指名しました（私の設計の施工経験が豊富な方
です）
ありがたいことに、
約2週間遅れのタイミングで同じ業者が次の現場にスライドす
る
絶妙な工程になっていますので
各工事の小さな問題点や、注意事項が生かされていきます。
職人さんから「この前と同じでいいんだよね？」と聞かれる
だけです。
工程が逆だったらかなり大変だったと思います。

↓面白かったらホッ↓

住まいブログ

追記：

プレカット工場からの加工図が届き、
設計図と食い違いが無いことを確認し図面を戻しました。
緊張する瞬間です。

まだ基礎しかない状況ですが、

建材のサンプルや色見本が現場から次々届いています。
今週末はお客様と現場で打ち合わせですので、
これから私のおすすめ案を作成します。

2007・09・01（土）

基礎完成

早起きして「ひたちの家」の現場に行きました。

しかし、朝から電話対応で30分遅刻です。

おまけに、約束の書類をを忘れるし、

重要な打ち合わせをする前に、次の現場へ急いで行こうとするし、

大変申し訳ありませんでした。

空回りの多い設計屋とまるで無関係のように現場は進んでいます。



きれいに仕上がりました。



アンカーボルトの施工精度も申し分ありません！

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

お客様の好みの家が現場近くがあり一緒に見に行きました。
私の思い込みとの差が意外に大きく

慌ててデザインの軌道修正をしています。

余計な世間話などからも、その方の好みが見えたりしますので、

設計打ち合わせ時からいろいろ話をしてきました。

それでも読み取れなかった理由は、お客様の年齢ですかね？

「この年代にはこれが受ける」という先入観が、まずかったです。

そして、次の現場で移動！

2007・09・13（木）

こちらも上棟

「私たちの家」が上棟です。

現場まで高速道路を使いますので

E T Cが割引される時間をかなり意識して出発します。

あれこれ慌てて準備をして、いつも通りギリギリに出発したので

デジカメを忘れてしまいました。

今回は携帯で撮影した画像です（意外にキレイなのね）



例によって切妻屋根です。

「屋根断熱」の家は

高い天井を確保できる割に、建物を低くすることが可能です。

「屋根通気工法」の家は

夏の熱さが室内に伝わりにくい工法です。

これらを合理的に組み合わせると「切妻屋根」になってしまいます。



断熱材をきちんと機能させるための防湿層も設けますが、
屋根断熱で上手に施工するためには
上棟時に一部のシートを施工しておく必要があります。

↓面白かったらポチ↓

[住まいブログ](#)

追記：

屋根と外壁のサンプルを持って行きましたが、

そんなに簡単に決まりません。

どの現場もあれこれ悩んでいます。じっと付き合うのも仕事で

す（笑）

2007・09・21（金）

上棟式

「ひたちの家」は、
お客様から上棟式の話を相談されていたのですが、
大工さんに謝礼を渡す程度のものと勝手に思い込んでいて
何も計画していませんでした（反省）
すると・・・
「上棟式はいつやるのですか？」とお客様から電話です・・・

慌てました。

既に屋根ができています。





急いで、準備を手配して上棟式を無事執り行うことができました。

ドタバタしてしまい申し訳ありませんでした。

確認事項はきちんとしましょう！（自分に言い聞かせています）



↑上棟式後の記念撮影！

（ヒゲがお子さんに不評でした）

↓面白かったらホッ↓

住まいブログ

追記：

現場では、

構造用合板の釘や、タイベックシートの状況などを確認します。

隣の家も工事が始まりましたが、どんな家が建つのでしょうか・

・ ・

2007・09・27（木）

断熱工事

「ひたちの家」の現場監督は機械音痴です（笑）

携帯電話は電話以外の使い方を知らないの
で、メールの使い方を覚えていただこうと思
ったら、メールアドレスが表示されません
でした・・・
それでも、

ひたちの現場は遠いので、

状況をメールで送って欲しいとお願いしたところ

写真が届きました!!! やればできるじゃないのっ!!!



天井の断熱材充填が完了し防湿シートが貼られてあります。
比重にキレイでひと安心です（きれいな現場はミスが少ないです）



外壁の通気層には蜂などが巣を作らないように
防虫対策を施します。

山を背にしたような敷地ですと「ヘビ」なども入るそうです。
外壁通気工法恐るべしです！

↓面白かったらホィ↓

住まいブログ

追記：

現場監督からのメールだと思ったら、
現場の大工さんをお願いして送っていただいたそうです。
写真の撮影も大工さんです（←7M 内緒だった？）

遠くの現場も状況確認が容易になりましたね。

2007・09・29（土）

電気打ち合わせ

「ひたちの家」の現場に行ってきました。
スイッチ・コンセントの位置の最終確認です。
設計時にも打ち合わせはしましたが、
実際に部屋の大きさが把握できると
お客様も使い勝手がイメージできますので
毎回時間をかけて行うようにしています。
(工事が進んでからの変更は面倒ですからね)



現場にはサッシュが届いていました。



外壁の透湿シートとサッシの取り合い部分
はていねいに工事しないと雨漏りの原因になりますので
きちんと確認します。

サッシに両面テープを貼り、
その上に透湿シートをしっかり重ね、しっかり擦ります。
窓周りの気密性能もこれで確保します。



天井の下地もできていました。

電気屋さんから急かされるのもごもっともです。

この現場は、進むのが早いんですね～（汗）

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

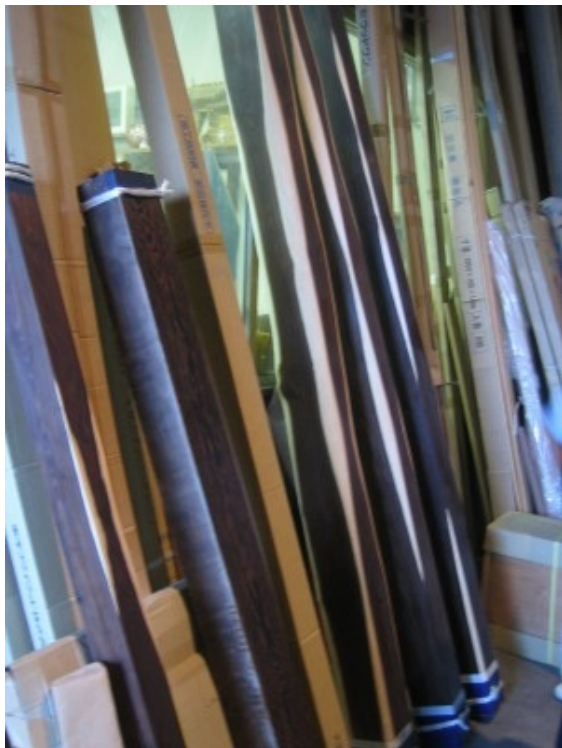
「土間のある家」の現場に追いついてしまいそうです。

2007・09・30（日）

床の間の材料選び♪

「ひたちの家」のお客様と床柱を見に行ってきました。
これまで床柱はカタログから選んでいましたので
現物を見に行くのは初めてです。

銘木屋さんの倉庫にずら～って並んでいるのを想像していたら
なんとあっけない・・・3本しかありませんでした・・・



最近は貼り物のイミテーションが多く
本物を使う現場が本当に少なくなっているそうです。
そういえば、床の間より収納を欲しがらるお客様も多いです。
そんなわけで、
今回の床柱も苦勞して集めたものだそうです。
床框なんて今回のために作ったものですから、
選ぶと言うより「これを使います！」と事前説明作業です。
お客様も少々がっかりしています（困ったな～）

↓面白かったらホチ↓

[住まいブログ](#)

追記：

以前、床柱をカタログで選んだとき、
柱の太さまで指示したのですが・・・
現場に行くとなかなり太い柱が「どーん！」と立っていました。
監督から一言「サービスです♪」
材料費をケチって細いものを注文したと思ったようです。
大工さんの価値観とのギャップを意識するきっかけとなりました。
ちなみに
そのときのお客様は笑って許してくれましたので
今もそのまま「どーん！」と立っています（赤面）

2007・10・21（日）

内装計画

「日立の家」の仕上げ材の打ち合わせをしてきました。

壁にはオガファーザーという

和紙に木片を漉き込んだような紙を貼ります。

床材は無垢フローリングで、天井はシナベニヤですので、

ほとんど決めるところはありません。



ですので、

トイレや洗面所の壁紙はお客様に決めていただこうと思っていました。

手抜き？

でもね、「自信がないので・・・決めてください♪」だって、参りました・・・

無難なものでも、やり過ぎでもだめ・・・

緊張するんですよ！

↓面白かったらポチッ↓

住まいブログ

追記：

現場は外壁が張られています。

同時に始まった私の現場の中で、ダントツの進捗状況です。

内装材選びで工程が遅れないように気をつけないといけません

！



2007・11・04（日）

内装計画奮闘中

「日立の家」は内装下地まで完了です。

主要な部屋の壁には塗装用の壁紙を貼り無塗装で仕上げますし、

床はナラフローリング、天井はシナベニヤで完成していますから

仕上げの検討といいましても水まわりの壁・天井だけなのですが、

打ち合わせは時間がかかります。

お客様に私のイメージを（やや怯えながら）伝え

表情の変化を慎重に読み取り

想定問答集のシミュレーションに習い

「対策B」から「対策G」へさりげなく微調整などしつつ

建物全体で違和感が無いよう着陸地点を探していきます。

断熱工事中の あの自信満々の監理者はここにはいません（号泣）



リビングから台所を見たところです。
ダラダラとひとつながりの部屋になっていますので
設計時点で仕上げ材の切り替えの検討がされていなかった部分
が
猛烈な勢いで私につかみかかってきます（汗）



2階は勾配天井で、
北側にロフトを設けてあります。
当初ハシゴは不要との話でしたが、
建物が出来上がってくると欲しくなるもの♪
想定の範囲内です（笑）

↓面白かったらホッ↓

住まいブログ

追記：

現場にいくと設計時の未検討部分や食い違い部分などに出くわします。

最近は面の皮が厚くなってきたようで
ほとんど動じず対応できるようになりましたが、
頭の中はフル回転です。現場の帰りは妙に疲れています。

追記の追記：

お客様に現場近くでおいしいラーメンをご馳走になりました。
冷たい麺に熱々の具を乗せた「スタミナ冷し」美味しかったです。

2007・11・18（日）

ベランダ完成！

「日立の家」で仕上げの色について打ち合わせをしました。





木製のベランダです。

屋上防水は雨漏りの原因ですので
私はほとんど設計しません。

その代わり、

柱を建てて建物と防水でつながらないベランダを作ります。
床は「塩ピスノコ」ですので軽量でメンテナンスも容易です。
ご覧のように、非常に風通しの良いベランダとなっています。



内部の階段もできました。

階段下収納の扉と、リビング内の作り付け収納がポイントですので、
設計のイメージと大きな差が無い或少しドキドキしています。

↓面白かったらホッちゃん↓

住まいブログ

追記：

扉の色を決めたのに、扉枠の色を決め忘れていました・・・

来週も現場打ち合わせになりそうです・・・

2007・11・24（土）

塗装の打ち合わせです。

「ひたちの家」の現場で色の打ち合わせをしました。

カメラの練習で現場に行ったわけではありません（念のため）



前回の打ち合わせで、

扉の色を決めたのに枠の色を決め忘れていたため

2週連続で現場打ち合わせとなってしまいました。

塗装は下地が違くと全く違う色になりますので緊張しますね。

納戸で実験してイメージ度かけ離れている場合は再検討とします。

↓面白かったらホッ↓

住まいブログ

追記：

外壁の検査をしましたので

近日中に足場が解体されます。

そうそう、完了検査の準備をしないとイケないですね。

2007・12・03（月）

足場解体です。

「ひたちの家」の足場が解体されました。

一眼レフカメラに広角のレンズをつけて撮影したのですが・
・

かなりヘタッピです。

とりあえず勉強ですので載せちゃいます。



難しいです。

↓面白かったらポチッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

内装工事が始まりました。

今月中に引渡し予定ですので
これからどんどん進みます。

2007・12・22（土）

建具設置完了♪

週末「私たちの家」の現場で打ち合わせがありました。

建具の金物について指摘があり慌てました（赤面）

完全にこちらのミスです。

連絡と報告を怠ってしまって・・・すみません・・・

デザインのこだわりをたくさん話してくださるから

気になっちゃうんです！

話を聞いていなければなんとも思わなかったところなのに・・・

・

建て主さんの怒りの言葉です。

なるほど、

確かに寡黙な建築家さんなら問題にならなかったところです。

ところが私は『口数が多い設計屋』ですので謝るしかありません。

（謝る以外の対応ができない状況を招いたことが問題なんですよね）

それでもこのスタイルは引き続き貫くつもりですので、

もう一步踏み込んだ調整能力を身に着ける努力をしています。

――しばらく猛省――

さて（←立ち直った？）

そんな状況でも現場は進んでいきます。

油断するとあらぬ方向に進んでいく生き物のようですが、
手綱をしっかりとつかんでいた部分を紹介します。



玄関ホールと居間の間の建具です。



半分重ねるといい感じです（偶然？）

壁側に引き込んでホールの向うの和室とワンルームになります。

左側には家具が付きます。

床に開いた穴は、床下暖房用の戻りガラリですが、家具が付くまでは『落とし穴』ですね。

↓面白かったらホッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

恥ずかしい話ですが、自戒の意味を込めて書きました。

2007・12・24（月）

完了検査のダブルヘッターです。

「私たちの家」がいよいよ完成です。

明日の午前中に完了検査が行われます。

茨城の建築センターは電話で検査日を予約した後

申請書を郵送し手数料を振り込むと、

書類の不備などをファクシミリで教えてくださります。

不足書類を郵送しようとする、検査日に持ってくればいいとのこと。

検査の時間は前日に連絡が来ます。

地元の建築確認を行う機関との差はかなり大きいですね。

但し、申請手数料に若干の差がありますので仕方ないのかも・

・

午後は「駅前の店舗」の完了検査です。

こちらは市役所に申請しました。

建築基準法の改正をまたいでいますので

工事中に聞きなれない書類の提出を求められました。

一部天井高さを低く変更したのですが、

排煙、換気量などは安全側への変更なのにも関わらず

法チェック計算書を再計算し提出しなければならないということです。

換気量の計算は安全側であることが確認できればいいのではないの？

現場の軽微な変更に対する行き過ぎた行政指導ですね。

(新しい法律の対応に不慣れなだけだといいなあ～)

↓面白かったらホッ↓

住まいブログ

追記：

やっぱり、書類作成より図面作成が好きですね。

でも・・・

でも・・・

でも・・・

明日の朝までの図面が終わらない・・・

サンタさん助けて！！

2007・12・25（火）

完了検査が無事終了です

「ひたちの家」の完了検査でした。

検査官が来るまでの時間は例によって竣工写真の撮影です。



扉を開放すると居間から和室までワンルームです。



リビングにはパソコン机をつくりました。



2階の子ども室は二部屋に仕切ることができますがしばらくワンルームで使います。（ドアは2つあります）しかし、どの写真も微妙に傾いていますね（ハッカイ）

外部の写真を撮影しようとカメラを構えたのですが仮設のトイレが邪魔でキレイに撮れませんでした。外は引渡しの日撮影します。

↓面白かったらホッ↓

住まいブログ

追記：

検査では細かな部分まで確認されましたが
問題無しです♪

でも、

このあともう一つの現場でも完了検査が待っていますので
まだまだホッとできません！

2007・12・28（金）

引渡ししました。

「ひたちの家」の引渡しをしてきました。

大切に育てた娘がまた嫁いで行ってしまいました・・・（←コレハッカリ）



ハニカムスクリーンが付きました。

かなり納期がかかり前日に設置されました（ギリギリです）



玄関ホールとの仕切りになる引き込み戸です。

こちらも完成時の設計事務所検査で調整を指示しましたので直前に設置されました（あぶね〜！）



外部の仮設トイレが撤去されようやくキレイに撮影できました。

脚立が欲しくなりました（カメラにはまっていく自分がコワイ）

外構ができるとガラッと雰囲気が変わる予定です。

今回の写真をよく見ると全てにモデルさんが写っています。
お客様の息子さんです。

私信：

こんな写真でよろしければメールで送ります。

帰りに「駅前の店舗」に寄ると
引越しがほぼ完了していて
古い建物の解体が始まっていました。
外構を残すばかりです。

さらに「川沿いの家」に寄ると
こちら引越しの真っ最中♪
冷蔵庫を運ぶのを手伝いコカコーラをいただきました（笑）

↓面白かったらポチ↓

[住まいブログ](#)

追記：

年末に4軒連続で完成引渡しを済ませましたので
正月休み中は電話が鳴るたびにドキドキですね。
「暖房が~~~~っ！！」なんて言われませんように~~~~



2008・02・11（月）

暖房不具合

「私たちの家」は外構工事中ですが、
今回は暖房の話。

基礎断熱でできた床下空間に温水パネルを配置する「床下暖房」は

暖め過ぎや急激な温度変化が少ない心地よい暖房です。

暖房方式には様々な選択肢がありますが、
メンテナンスしやすさと、心地良さの点では
かなり上位にランキングされます。

(灯油高騰がなければランニングコストでも有利でした)

これだけ持ち上げるとメーカーの回し者なのではないかと
あらぬ疑いを懸けられてしまいそうですので苦言を一つ、
私はサンポットの床下暖房を使っていますが、
リモコンの操作性が「イマイチ」なんですよ・・・

「安全対策」という名目らしいのですが、

床下温度が一定温度を超えた場合

暖房を止めるためのセンサーが付いています。

出荷時には38℃の設定ですので、

床下がこんな温度になることはありません。

どんな状況を想定しているのだろうと笑っていたのですが、
なんと、

リモコンのあるボタンを長押しすると

床下温度設定を調整できるというのです！！

「ひたちの家」のお客様から室温が上がらないと電話があり詳しく聞いてみると、いつの間にか床下温度を操作していたようです

床下が20℃になると暖房が止まっていました。
これでは室温が上がらなくても仕方ありません。

今回の症状をはこんなです。

天気の良い日は室温が上がるけど
曇りの日や早朝は
なかなか17℃以上にならない

外が寒くても室温が大きく下らないと言うことは
17℃で制御していると考えます。
床下温度は室温より若干高めですので、
床下を20℃に設定したのではないかと考え対応しました。
そして正解！！

地面に蓄熱するのに時間がかかる話をしましたので
竣工後しばらく我慢して過ごしていたらしいです。

ゴメンナサイ
この暖房は説明が難しいです・・・

↓面白かったらポチ↓

[住まいブログ](#)

追記：

暖房の問題がこんなにスムーズに解決することは稀です。
床下温度設定の件は同じ症状で大騒ぎした経験があるから
できただけですから・・・

「関西の家」の素人監督のおかげですね（笑）

2008・02・19（火）

ゲート♪

「ひたちの家」に行ってきました。

お客様はやや低めの設定温度で上手に省エネ生活をしていました♪

やや低目といっても、5月ごろの室温をイメージしてください。

日が射せばシャツ1枚で過ごしますし、

ちょっと肌寒い日はセーターを着ることもありますが、暖房は使いませんよね？

そう、ちょうど5月の室温になる暖房温度設定なんです。

きちんと断熱しても、室温は外気温に影響されます。

外との温度差が大きいほど暖房エネルギーを使いますので、暖房機で強引に一定の室温にしなくても

ある程度は着衣量で調整する環境でいいんじゃない？

もちろん、どんなに外が寒くても、

床下コンクリートに暖房の熱を蓄えてありますので

室温が15℃以下になることは稀です。

物足りないときは自分の周りだけ電気ストーブで温めます。

建物全体を1℃温めるよりはるかに省エネです。

省エネって「設備」より「意識」の差が大きいんですよ。

んまあ～

外構工事を確認に行ったのですが、

そんな感じの世間話(?)をしてきました。

本当の目的はこちらです。

ゲート完成！



建物が完成してしばらくたつと
ほとんどの家に物置が設置されています。
あんなに外壁の色で悩んだはずなのに、
通りから良く見える位置に「イ〇バ物置」が
ドーンと鎮座しているのを見るとがっかりします（マジデ）
そんなわけで最近の外構工事に物置を組み込みます。

お隣とのプライバシーなどを考えながら
塀や車庫でドンドン建物を隠していきます。
そうなんですっ！
家の外壁より外構に少し多めに予算を振り分けたほうが
建物は立派に見えますよ。

↓面白かったらポチ↓

住まいブログ

追記：

お客様と植栽の話もしました。

慌てずに少しずつ自分でつくって行くことをお勧めしました。

植物は生き物ですので

どんなにきれいに作りこんでも愛着が無いと

すぐに荒れますからね。

あっ！

「川沿いの家」の外構打ち合わせをしなければ・・・

思い出した・・・

2008・03・28（金）

外構完了です

「ひたちの家」に行ってきました。

建物の外構まで完成したので写真の撮影が目的です。



それから、

玄関タイルのパターンにミス発覚！
恥ずかしいのでここには載せませんが
写真にするとかなり大胆な間違いで、
お客様には平謝りです。
すぐに直しますね♪ (←音符でごまかしはいつもの手段)

↓面白かったらホッ↓

[住まいブログ](#)

追記：

撮影のために脚立を買っちゃいました。
広角レンジでも歪ませないためには高い視点も有効なんで
すね。

2009・01・21（水）

暖房の設定

一昨年前に引き渡した「日立の家」に行って来ました。

冬の温度測定のためです。

床下暖房の送水温度をできるだけ低く設定しているとのこと、



送水温度は4.5℃以下で、

午前10時の室温は17℃です。

暖房は9時で止まっています。

「寒くないですか？」と奥様に尋ねると、

「慣れですね」との回答。

そう、

この室温は暖房を入れるべきか悩み始めた11月中旬頃の室温です。

セーター1枚を脱いだり着たりで解決できる室温なんですよ！

夕方になると再び暖房のスイッチが入ります。

この送水温度で何度まで室温が上がるのか、
温度計を改修する日が今から待ち遠しいです（本気！）

↓面白かったらポチ↓

[住まいブログ](#)

追記：

今年に入ってから、
暖房リモコンに表示された設定の写真を集めています。
たくさん集めると面白いことになりそう（←変態ですね）

2009・02・24（火）

温度測定中

「日立の家」は完成して2度目の冬です。

私はできるだけこのタイミングで建物の断熱性能を確認し、より省エネを目指した暖房方法のアドバイスをするようにしています。

1月の終わり頃に温度計を設置に行ったら

1年間の灯油消費量のデータを渡されてしまいました。

うっ！

暖房と給湯がどちらも灯油ボイラーを使っていますのでどちらにどれだけ使っているかの判断が難しいです。

それでも計算してみました。

1月末から12月末までの11ヶ月間に消費した灯油総量は870ℓ

非暖房期間の消費量を給湯エネルギーとし、

冬期間は倍程度に割り増しすると給湯の消費量は440ℓとなります。

残りが暖房です。

しかし、

昨年1～2月は暖房焚き始めですので消費量がかなり多い

です。

断熱計算ソフト（Qpex）によりシミュレーションでは
年間暖房エネルギーが570㎖となっていますが、

お客様は換気扇の風量を絞って生活しているため

100㎖以上の省エネ効果が期待できます。

（24時間換気扇は設置義務で、お客様の運転義務は無いのよね）

そうすると2月上旬の消費量もかなり怪しい・・・

床下のコンクリートへの蓄熱が十分されるまでの

エネルギー消費量は1年目だけですので

暖房エネルギーにはカウントしないことにしています（←ずるい？）

12月の消費量が昨シーズンより少ないことから

ようやく安定した暖房になったことが確認できます。

灯油消費量 1.pdf

（↑マニア向け消費量グラフ）

建物のQ値は2.02[W/㎡K]ですので、それほど悪くないのですが、

住宅地であるため南側建物により日照が遮られてしまいます。

暖房費は地域の気象条件だけでなく敷地周辺環境にも影響を受けます。

1日1回押して下さい。 ↓ ↓ ↓ 頑張る気持ちが増します。

住まいブログ

追記：

明日、温度計を回収に行きますので慌ててデータを整理しました。

いつもギリギリです（汗）

茨城県日立市より福島県小名浜のほうが暖房費は安くなります。

50km以上も北に位置する町ですが、冬期間の日照時間が長いためこのような計算結果となるようです。

2009・02・27（金）

温度測定結果考察

「日立の家」の温度計を回収してきました。

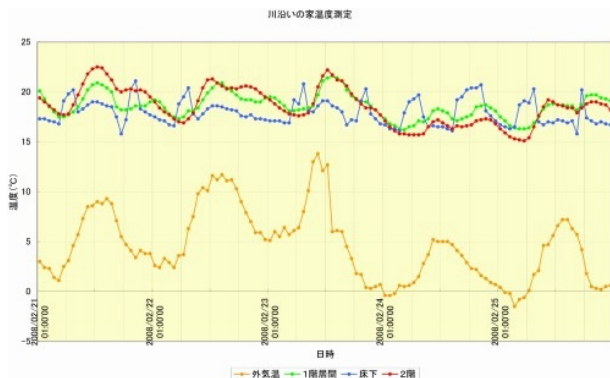
早速データをパソコンに移し、
気象庁の気温データを重ねて見ました。
あれれ、ちょっと温度差が大きいです。
さて、悩みますか・・・

ほとんどの私が設計する家には吹抜けがあります。

「暖房の熱は温かく軽いので上昇するから、
吹抜けは天井近くに熱が集まり、床近くは寒くなるぞ！
ヤメトケ！ヤメトケ！」　これが世間の常識です。

でも、
ちゃんと断熱し空気を必要以上暖めない暖房方式を採用すると
そんなことはありません。
吹抜けを通して建物全体が「ひとつながり」になる設計の場合
建物内の温度差はほとんど無くなることのほうが多いのです。

例えば「川沿いの家」のデータがこれ、

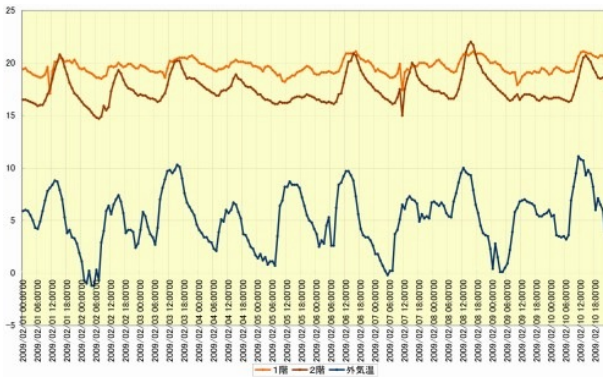


吹抜けでつながった2階が「赤」で、1階の温度は「緑」です。

ほとんど一緒の温度で、1階部分の方が温度が高い時間帯もあります。

不思議に思えるかも知れませんが、断熱を意識して設計すれば1階の床下暖房でこの程度は朝飯前ですよ。

なのに「日立の家」は、1階と2階の平均室温で2℃の差があります。



「オレンジ」が1階で、「茶」が2階の室温です。
完全に2階の方が低い・・・

吹抜けを設けない建物での温度ムラが
これ程できるとは思っていませんでした。
温度計は2階の子ども室に設置したのですが、
お子さんがまだ小さいのでほとんど使われていませんから、
仕方がないのかも知れませんが、ちょっと予想外でした。
子ども室が使われるようになってから再測定をお願いしたい
です。

ちなみに、
仙台の家では90cm角の小さな吹抜けを設けることで
室温の平均化に成功しています。もちろん2階には暖房無し！
輻射暖房の熱の移動はかなりデリケートなんですよ・・・
思ったように温熱環境をデザインできるようになるには
まだまだ修行が足りないようです。

「日立の家」の2階は寝室ですので、
少し室温が低い方が寝心地がいらしく
お客様からは温度差を問題だと言われてはいませんが、
何となく結果オーライな状況はちょっと不満なんですよ・・・

吹抜けに頼り切っていたこれまでの設計スタンスを少し反省して、
次の設計に取り組みたいと考えています。

1日1回押して下さい。 ↓ ↓ ↓ 頑張る気持ちが増します。

住まいブログ

追記：

24時間全室暖房といっても、
暖房している時間は平均すると1日7時間程度です。
布団に入っている夜間は暖房を完全に止めたほうが快適だから
です。
終日温度差のない退屈な空間より、
生活のリズムに合わせた快適な温度差を設計したいと考えています。
2℃の温度差を狙って計画できるようになりたい（悔し涙！）

日立の家新築物語

著 者：豊田設計事務所 豊田善幸

発行日：2009年04月14日

発行所：Obunest

©2006 EAST Co., Ltd./Obun Printing Company, Inc.

運 営：イースト株式会社

<http://www.est.co.jp/>

PDF変換：欧文印刷株式会社

印刷・製本：欧文印刷株式会社

<http://www.obun.jp/>

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが下記のアドレスにご連絡ください。

mybooks_info@est.co.jp

200904140161-004-DFEBDB



200904140161-004-DFEBDB

背表紙は左のようになります。

半角英数字を使用している場合は半角英数字だけ90度回転した状態になります。
なお製本サービスをご利用の場合、総ページ数が一定のページ数（モノクロは121ページ、カラーは141ページ）に達しない場合は背表紙に文字は入りません。
ご承知おきください。



日立の家新築物語

豊田設計事務所 豊田善幸

英数字が90度回転しないようにするには....

お申し込み画面の「書籍のタイトル」と「著者名」を入力するときに全角文字で入力してください。

<英数字を半角で入力した場合>

子育て日記 VOL. 2

▼
子育て日記 VOL. 2

<英数字を全角で入力した場合>

子育て日記 VOL. 2

▼
子育て日記 VOL. 2

